

「旗開き 2016」の開催日は、平成二十八年二月二十二日(金)です。皆さんの参加をお待ちしています。



NTT労組  
コムウェア九州分会

発行責任者 権丈 雄二  
編集責任者 羽田 康祐  
編集担当 大田 聖瞳  
編集 井邊

# 「frage」活動を盛り上げるために ユニークな活動を!

十一月四日～五日に東京・新橋においてfrageリーダーフォーラムが開催され、九州分会からは、和田尚之さんが参加した。

「frageリーダーフォーラム」では全国から合計三十分会のfrage代表が

## 石橋議員必勝に向けて ～若手世代で今何ができるか?～



集まり、各地方の横の繋がりの形成、ならびに今後の組合活動に向けての意識合わせを行いました。主な内容は二つあり、一つ目は、「どのようなイベントを行えば、frage活動を盛り上げることが出来るか」について話し合いました。他分会で行われているイベントとして「高尾山清掃活動」や「驛ト大会」等のユニークな内容を共有しました。コムウェア九州分会でも取り組めそうなアイデアもありましたのでfrage活動の中で発揮して皆



主権者あいさつのあと、情報労連の北野政策局長による「女性活躍推進法」の目的や概要をテーマにした講演が行われました。なぜ女性が活躍することが社会の活性化に繋がるのか、女性の活躍推進の本来の目的について、今まで疑問であったことや不思議に思っていた事がスツ

## 女性も男性も輝ける職場作りへ

十一月九日、東京・品川において男女平等参画推進フォーラムが開催され、九州分会からは、松石事務局長と島内紗希さんが参加した。

様にfrageは面白いことをやっている」と認識して頂けるように工夫していきたいと思えます。二つ目は、「二〇二六年夏の参議院選挙に向けて、

若手世代への参加を促すために何が出来るか」について話し合いました。代表同士の議論の中で「なぜ、組合として石橋議員を応援するのか」、「応援することによって何が変わるのか」といった部分が不明確であるといった意見が多かったため、「石橋議員を応援することによる影響」や「石



橋議員が掲げる公約の内容を簡潔に伝える」といった

取り組みを行うべきとの結論に至りました。今後は、来年四月に行われる第二回目のfrageリーダーフォーラムにて先ほど述べた内容を具体化していく試みを実施していきます。その際には皆様にもご協力を依頼することがあると思いますが、よろしくお願ひ致します。(和田)

と自分の中へ落とし込むことができ、女性組合活動などでも共有していきたいと思いました。また、他の企業が持っているモチベーションを高く保てる働き方の話もあり、女性組合員だけでなく会社も巻き込んで是非展開したいと思う内容がありました。

次に育児介護制度の説明があり、今までは間接的では知らなかった制度や休暇の取り方、制度同士の「複合技」など、目からウロコが落ちるような情報を知ると共に、「この制度を利用したい人はたくさんいるのではないか?」、「様々な制度の組合せでよりよいワークライフバランスを目

指すことが出来るのではないか?」と率直な感想を抱き、ここで知り得たことを女性組合員だけではなく全組合員の皆様に展開していきたいと思いました。

最後に、第二次男女平等参画推進計画の内容共有があり、現在NTT労組がどのような観点で男女平等参画の推進を計画しているのか、意見交換を通じ理解することができました。

今回のフォーラムに参加して学んだこと、気付いたことを今後の女性組合活動に活かし、組合員の皆さまに共有できるように活発な活動をし、女性も男性も輝ける職場作りを目指したいと思います。(島内)

# 第12回 海外研修 前編

十月三十一日〜十一月五日、情報労連九州ブロックの「第十二回海外研修」が開催された。研修先は、ベトナム社会主義共和国で、コムウェア九州分会から、中村寛子さんが参加した。研修内容や感想を一回に分けてお伝えします。



皆さんは、ベトナム戦争についてどのくらい知識が  
おありでしょうか。終戦後  
四十年なので、ご存知の方  
は多いと思いますが、私は  
ほぼ無知であるため、六日  
間の研修は毎日が驚きの連  
続でした。

本研修は、ベトナムのホーチミン市にある様々な施設を訪問し、ベトナム戦争を通して平和を学習するものでした。  
まず「ツーズー病院」を訪問しました。日本で報道されたの  
でご存知の方も多  
いと思いますが、  
一九八八  
年に、枯  
葉剤の被  
害により  
下半身が  
つながつ  
た結合双  
生児とし  
て生まれ  
た「ベト  
ちゃんド  
クちゃん」  
の分離手  
術が行わ

れた病院です。日本の医師が立ち会いの下、日本が多くの支援をして行なわれた手術です。手術を受けた兄ベトさんは、二〇〇七年に二六歳で亡くなってしまいましたが、弟ドクさんは、二〇〇六年に結婚し、双子の父親になり、この病院のスタッフとして働いているそうです。残念ながらお子さんのお迎えの時間と重なってしまい、会うことができませんでした。



この病院では、枯葉剤の影響を受け亡くなった胎児がホルマリン漬けされ保存されている姿を拝見しました。想像を絶する姿で思わず目を背けてしまいました。また、枯葉剤の影響を受け障害を負うことになり、入

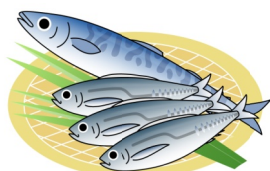
## 私の 営業部 田舎通勤さん 私の副収入

私は通勤に一時間半もかかる海沿いの田舎町に住んでいます。家を建てるときに、地価の安いところを探して、結果的に今の地域に決まったのでした。

しかし、今となっては大正解でした。田舎イコール地縁を大切にする土地柄ですから「余ったから・・・」の言葉を添えて、漁師さんからイカや鰻をもらったり、農家の方からは野菜、古米（それでも大家族にはありがたい）、ときには名産のイチゴなどいただいたりします。

私はその恩返しに、自治会やPTA、夏祭りなどの地域イベントでせせと体を動かしています。それでも差し引きすると、「いつも町のためありがとうね。」

と感謝される分だけ、ぜったい私が得をしていると思っています。こんな副収入はいかがでしょうか？



院している子どもたちに触れ合う時間がありました。手が不自由な子、皮膚病の子、水頭症の子、脳に障害を負ってしまった子と、様々な障害を負っていました。その中でも元気な子どもたちは、明るく無邪気に研修のメンバーに抱っこを求めてくれたり、衛生のために靴に被せたビニールを脱ぐ作業を手伝ってくれたりと積極的に私たちと触れ合ってくれました。負っている障害が重い子どもたちも多く、その姿を見ると居た堪



次に「チクの地下トンネル」を見学しました。このトンネルは、チク村民が米軍から攻撃を避けるために作られた総距離二〇〇kmにも及ぶ手掘りの地下トン

ネルです。米軍の攻撃に立ち向かうために、落ちたら毒付きの釘に刺さる落とし穴やトンネルの入り口に毒付きの釘が刺さった扉などの罠を設置したり、米兵はベトナム人に比べ体が大きいためトンネルを狭くしたりと様々な工夫が凝らしてありました。実際にトンネルの中に入って体験しましたが（体験用に当時より多少広くしているようですが）その狭さに驚きました。

(中村)  
(後編に続く)